

「3TOP オンライン英会話」利用規約

株式会社 3TOP（以下、甲という）は、甲が提供するオンライン英会話（以下、当サービスという）を当サービスの申込み希望者および利用者（以下、乙という）が利用することに関して以下の利用規約（以下、本規約という）を定め、乙は当サービスの利用をもって利用規約に同意したものとみなす。

（利用規約の範囲）

第1条

1. 利用規約の範囲は当ウェブページに規定するものに加え、甲が乙に対して電子メール等で発信する情報も含む。
2. 甲乙間において当利用規約とは別に個別の定めがある場合は、個別契約の規定が優先するものとする。

（当サービスへの登録）

第2条

1. 乙は甲が定める手続きに従って、当サービスの登録をします。乙は当サービスの登録にあたって、下記の事項を確認し、同意したものとします。
 - （1）利用規約を熟読し、その内容を承諾した上で、当サービスに登録すること。
 - （2）スカイプ又は Zoom をインストールすること。
 - （3）氏名、電子メールアドレス、パスワードその他の項目につき、真実かつ正確な情報を登録すること。また登録時に設定したこれらの情報を乙の責任で厳重に保管すること。
 - （4）通信環境が当サービスの利用に支障がないことを確認すること。
 - （5）乙が満 18 歳未満の場合は親権者等法定代理人の同意を得ること。
 - （6）甲が定める決済方法により利用料金を支払うこと。
 - （7）甲でレッスンを提供する講師の中には、甲から業務委託を受けたフリーランス等も含まれていること。
 - （8）乙がスカイプによる受講を希望する場合、乙が登録したスカイプ名をレッスンの提供を目的として当サービスの予約ページ等に掲載すること。
 - （9）質問や不明な点等の各種問い合わせについては、対応の品質向上等のため、乙の問い合わせ内容等を記録、録音、保管することがあること。
2. 甲は乙からの代金の支払を確認するまでは、乙による当サービスの利用を制限できる。

(禁止行為)

第3条

1. 乙は当サービスの利用に際して以下に定める行為を行ってはいけない。

(1) 乙が当サービスを利用する権利を他者に譲渡、使用、売買、名義変更、質権の設定、担保に供すること。但し、甲が事前に許諾した場合を除く。

(2) 甲の名誉、信用、著作権、特許権、実用新案権、意匠権、商標権、肖像権、プライバシーを侵害すること。

(3) 違法行為、公序良俗に反する行為。

(4) 当サービスの運用を妨げる行為。

(5) 当サービスを営業行為、営利目的およびその準備に利用する行為。

(6) 当サービスの他の利用者に違法行為を勧誘または助長する行為。

(7) 当サービスの他の利用者が経済的・精神的損害、不利益を被る行為。

(8) 当サービスを通じて知り合うこととなった他の利用者と当サービス以外で個人的に接触すること。

(9) 犯罪行為および犯罪行為に結びつく行為。

(10) 甲および甲のスタッフ・講師への威圧的な行為、罵倒する行為、性的嫌がらせ、嫌悪感を与える行為、不良行為などサービスの提供を妨げる等のハラスメント行為。

(11) 講師の雇用条件やオフィスの場所、インターネット回線など甲の一般的に開示していない機密情報を詮索する行為。

(12) 電子メールの送受信を含め、オンライン、オフラインを問わず、本人またはその代理人が講師と個人的に接触しようとする行為。

(13) 講師に甲の競合たりうるサービス・企業での勤務を勧誘する行為。

(14) カスタマーサポートスタッフへの暴言・脅迫行為、またはカスタマーサポート業務の進行を妨げる行為。

(15) 有償・無償の別を問わず、会員登録後に発行されるID、パスワードを乙以外の者に利用させ、或いは、乙以外のものと共有する行為（但し、甲が事前に許可を出した場合はこの限りでない。）。

(16) レッスンの内容、画像、動画もしくは音声を甲に無断で公開する行為、又はそのおそれのある行為。

(17) 講師から公開前のスケジュールを聞きだす行為、又は講師と直接スケジュールの調整を行う行為。

(18) その他、甲が不相当と判断する行為。

2. 前項の禁止行為に該当するか否かの判断は、甲の裁量により判断されるものとする。なお、本項の判断について甲は説明責任を負うものではない。

3. 乙は、前項に違反する行為に起因して甲または第三者に損害が生じた場合、当サービスからの退会後であっても、すべての法的責任を負うものとし、いかなる場合も甲を免責するものとします。

(登録の不承認・取消し)

第4条

1. 甲は、乙が下記に定めるいずれかに該当すると判断した場合、乙の登録を承認しない。また、既に登録済みの場合には、乙に対して事前の通知等を要せず、本サービスの利用の制限・停止又は登録の取消の処分を行うことができる。また、支払いを済ませた金額は一切返金しないこととする。

(1) 乙が実在しない場合。

(2) 乙が申し込みの際、虚偽、誤記または記入漏れをした場合。

(3) 乙が既に当サービスに登録している場合。

(4) 乙が過去に甲により登録の承認を取り消されている場合。

(5) 乙が指定した銀行口座またはクレジットカードが利用停止処分等を受けている場合。

(6) 乙が過去に代金の支払いを怠ったことがある場合。

(7) 乙が未成年、成年被後見人、被保佐人、被補助人の何れかであり、登録の際に保護者、法定後見人等の同意を得ていない場合。

(8) 乙が前条に定める禁止行為を行った場合。

(9) その他の事由で甲が乙による本サービスの利用を不適切と判断した場合。

2. 甲は第1項に定める事由を理由とした処分により、乙に損害又は不利益等が発生した場合であっても、一切の責任を負うものではない。

3. 甲は、乙に対し、本規約に違反する行為により甲に生じた一切の損害、損失、費用（訴訟費用及び弁護士費用を含む）の賠償を求めることができるものとする。

(利用規約の変更)

第5条

甲は乙の了承を得ることなく利用規約を変更することができる。変更後の利用規約はウェブ上へ表示またはメール等で通知した時点で効力を生じるものとし、乙はこれを承諾しなければならない。

(登録情報の変更)

第6条

乙は甲に届けた登録情報の内容に変更があった場合、遅滞なく登録情報の変更手続きをしなければならない。甲は乙が登録情報の変更を怠ったことにより生じた乙の不利益、その他の負担に関して一切責任を負わないものとする。

(登録情報の取り扱い)

第7条

1. 甲は乙の登録情報を甲が別途定めるプライバシーポリシーに則って管理するものとする。ただし、以下に定める場合には、乙の事前の承諾なく乙の登録情報を第三者に提供・開示することができるものとする。

- (1) 法令等に基づき開示を求められた場合。
- (2) 公的機関より開示を求められた場合。
- (3) 当サービスの提供の目的で当サービスの一部を委託する第三者に提供する場合。
- (4) 甲の正当な権利行使に必要な場合。

2. 乙は登録した情報を厳重に管理・保管するものとする。乙による登録情報の漏洩、消失および登録情報の管理の不徹底による損害の責任は乙が負うものとし、甲は一切の責任を負わない。また乙は自己の登録情報が他者によって不正利用されていることを知った場合、ただちに甲にその旨を連絡し、甲の指示に従わなければならない。

(退会)

第8条

1. 退会とは、乙の当サービスの利用を停止し、登録情報を削除することをいい、手続きを完了した旨を電子メール等で送信した時点で退会手続きの完了とする。

(1) 乙は、退会が完了した時点をもって当サービスの一切の権利を失うものとし、甲に対していかなる請求を行うことができないものとする。

(2) 乙は、自身の行為等に起因して甲または第三者に損害が生じた場合、会員資格を喪失した後であっても、すべての法的責任を負うものとし、いかなる場合も甲を免責するものとする。

2. 乙は当サービスの利用を停止し退会する場合、退会希望月の25日までを退会期日とする。26日以降の連絡は翌月末退会扱いとする。

(サービス規定)

第9条

乙は、次の各サービス規定にあらかじめ同意し、従うものとする。

1. 乙は甲が別途定める利用料金を以下の方法で支払うことで当サービスを利用することができる。支払い先は乙が有料サービスを所定のフォームで申し込みをした後に、甲が別途電子メール等で連絡をする。

(1) 自動継続プランを口座振替で、サービスを受ける前月末まで、または指定された期日までに支払う。

(2) 自動継続プランを銀行振込で、サービスを受ける前月末まで、または指定された期日までに支払う。

(3) 自動継続プランをクレジットカードで、サービスを受ける前月末まで、または指定された期日までに支払う。

2. 前項の規定にかかわらず、下記の場合は利用料金返還期間として利用料金を下記のように返金するものとする。

(1) 乙が当サービスの利用料金を本条1項1号に定める方法にて初めて支払った後、甲が電子メールにて乙の支払いを確認した旨を連絡した日付から起算して8日以内に第8条の定めにより退会の意思表示を行い、かつ、返金依頼の意思表示を行った場合は、利用料金から返金手数料二千円(税込)を差し引いた金額を返金する。但し、同一の銀行口座や、同一のIDで二回以上入会した場合、二回目以降は8日以内に解約されても返金の対象とはならない。

3. 甲は、乙への一貫性のあるサービスを提供するため、乙の当サービス利用で得られた情報を記録・閲覧・監視する事がある。乙はサービス利用にあたり、甲によって監視されている可能性があることに予め同意し了承する。また、レッスン品質向上、維持、トラブル防止のためにレッスン内容を録音・録画する事がある。

4. 前項で得られた情報には乙の個人情報が含まれる事がある。

5. 予約した講師が、やむを得ない事由により実施できない場合、甲或いは講師よりキャンセルすることができることにあらかじめ同意する。

6. 予約はレッスン開始72時間前まで、キャンセルは48時間前まで可能とし、キャンセル後は再度レッスン予約を可能とする。レッスン開始前48時間前以降のキャンセルは欠席として扱う。欠席の場合、課金対象とし予約ポイントは消化するものとする。

甲がレッスンの予約に関して、事前に日程を定める必要がある場合はこの限りではない。

7. 乙の遅刻、パソコンの不調、その他の理由により開始が遅れた場合、予約時間終了をもって欠席とする。

8. 担当講師の責に帰すべき事由などによりレッスンが正常に行われなかった場合、甲は乙に対しレッスン機会の返還を行う。なお、帰責事由の有無、返還機会数については甲の合理的な判断に基づくものとする。

9. [講師やレッスンの内容を評価(クチコミ)する]の投稿にあたっては、甲並びに講師が投稿者を認識すること、並びに講師詳細画面など当サイト内に公開される事に予め同意し了承する。また、公開するか否かの判断は、甲の裁量により判断されるものとする。なお、本項の判断について甲は説明責任を負うものではない。

(サービスの提供期間)

第10条

1. 乙は本規約第2条2項にもとづき乙の当サービスの登録を甲が承諾した日より当サービスを利用することができる。

2. 乙は本規約第4条または第8条の定めにより当サービスの利用が停止される。ただし第4条の事由によるサービスの停止の場合は甲が乙にサービスの停止を通知した時点でサービスの停止日とし、第8条の事由によるサービスの停止の場合は乙が退会を通知した月の月末日をサ

サービスの停止日とする。

(サービスの中断・終了)

第11条

1. 甲は当サービスの中断もしくは終了を事前もしくは事後にウェブサイトや電子メール等での通知をもって行うことができる。またスカイプ又は Zoom の障害、国内外の政治情勢・自然災害等甲の責任によらない事由で当サービスの提供が困難な場合はサービスを中断できるものとする。

2. 甲は各国の祝祭日（ホーリーウィーク、クリスマス等）にはサービスを提供できない、もしくは提供可能なレッスン数が通常より著しく減少する可能性がある。各国の祝祭日を理由としたサービスの中断、提供レッスン数の減少等に関して、甲は一切の責任を負わないものとする。

(情報配信)

第12条

甲は乙に対して電子メールによる通知、広告、アンケート等を実施できるものとする。

(スカイプ又は Zoom の利用)

第13条

甲はスカイプ又は Zoom が提供するサービス（以下「通話ソフトウェア」という。）を用いてサービスの提供を行う。通話ソフトウェアの利用に際し、乙は下記の内容について同意したものとする。

1. 乙は通話ソフトウェアの機能及びその利用規約についてスカイプ又は Zoom の規定するそれに従う事とする。

2. 当サービスの利用前までに通話ソフトウェアをダウンロードすること、そのバージョンを最新のものにアップデートすること、その機能を確認することは乙の責任とする。

3. 通話ソフトウェア及びその利用に必要なハードウェアの故障及び設定不備により、当サービスが利用できない場合、甲は一切の責任を負わない。

4. レッスン開始後に発生した通話ソフトウェア自体の機能の不具合について、甲は一切責任を負わない。

5. 通話ソフトウェアのチャットなどを通じ、講師から送られてきたファイルや甲以外の URL を開くときは、会員の自己責任で開くものとする。講師から送られてきたファイル・URL が原因となってウィルス感染などの損害が発生した場合でも、甲は一切の責任を負わない。

6. 乙が登録したスカイプ名は、レッスン提供を目的として当サービスの予約ページ等で講師に対して公開される。乙が登録したスカイプ名は、甲が別途規定するプライバシーポリシーに則り、甲が合理的かつ必要な予防措置を講じて保護・管理する対象の個人情報には該当しないものとする。

7. プライベートで使用しているスカイプ名など、乙が講師に対して特定のスカイプ名を公開したくない場合は、乙はレッスン専用のスカイプ名を取得し、甲に登録し、レッスンで使用するなど、乙は自身の個人情報を保護・管理するにあたり合理的かつ必要な予防措置を講じなければならない。

8. 甲は通話ソフトウェアの事情により生じたトラブルについては一切の責任を負わない。

9. 通話ソフトウェアを含む当サービスの利用に係るインターネット通信、プロバイダ契約その他一切の通信料は、乙の負担とする。

(賠償責任の制限)

第14条

1. 甲は、本サービスの完全性、正確性、確実性、有用性等について保証するものではありません。

2. 乙は下記に定める事項に起因または関連して生じた一切の損害について、甲が賠償責任を負わないことに予め同意する。

(1) 当サービスを利用したこと、または利用ができなかったこと

(2) 乙が受信したファイルやアクセスしたサイトなどが原因になるウィルス感染や情報機器故障などの損害

(3) 当サービス利用中の甲および甲のスタッフ・講師による発言や行為

(4) 当サービスにて提供されるレッスンの学習効果、正確性等

(5) 乙がレッスン中に伝えた情報に起因するあらゆる損害

(6) 当サービスの利用に際して、以下の事由により満足な利用が出来なかった場合

a) 急激な生徒数の増加、または、通信障害発生などによる提供可能レッスン数の急減により、提供レッスン数が一時的に不足している状況

b) 希望する時間帯のレッスンが予約できない状況

c) 特定の講師や特定のレッスン価格のレッスンが予約できない状況（甲及び講師の事由に基づく場合も含みます。）

d) 停電・通信障害発生によりレッスンを中止せざるを得ない状況

e) Skype など甲のサービス提供の為に甲が利用するサービスの不具合、トラブル等により本サービスが利用できない状況

(7) その他サービスに関連する事項

3. 甲は、乙が本サービスの利用に起因して甲または第三者に損害または損失を与えた場合、乙に対して当該損害の賠償を請求できるものとし、乙は当サービスからの退会後であっても法的責任ならびに賠償する責任を負うものとします。

4. 甲は、乙による本サービスの利用により生じた不利益、損害について、一切の責任を負わないものとします。

(著作権および所有権)

第15条

当サービスに関する商標、ロゴマーク、記載等についての著作権、所有権は全て甲に帰属する。これらを乙が甲に無断で使用することを禁じる。

(準拠法および専属的合意管轄裁判所)

第16条

本規約の準拠法は日本法とする。また、当サービスまたは本規約に関連して甲と乙、第三者の間で疑義が生じた場合は、その都度該当事者間で誠意をもって協議する。協議をもって解決しない場合は、東京地方裁判所をもって、第一審における専属管轄裁判所とする。

個人情報保護方針・プライバシーポリシー

1. 株式会社 3TOP(以下当社)は、事業活動の遂行のため、必要に応じて、個人情報を収集させていただく場合があります。その場合であっても、予め定めた利用目的の範囲内でのみ個人情報を取扱い、その目的達成に必要な範囲を超えて個人情報を収集いたしません。また、個人情報を提供していただく際には、その利用目的を明らかにしてご本人の同意を得ることとし、同意いただいた目的以外には利用いたしません。
2. 収集した個人情報を適切に管理するため、組織的・人的・技術的な安全対策措置を講じ、個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失・破壊・改ざん・漏えい等の予防、ならびにリスクの拡大阻止および再発防止等の是正に取り組みます。
3. 個人情報を取り扱う上で、個人情報の保護に関する法令および各省庁の個人情報取扱いに関するガイドライン等を遵守いたします。
4. ご本人からの個人情報取扱いに関する苦情、お問い合わせについては、遅滞なく速やかに対応いたします。
5. 当社は、情報技術の発展や社会情勢の変化等を踏まえて本方針を適宜見直し、お客さまの個人情報の取扱いについて、継続的な改善に努めてまいります。

2020年04月13日施行